



2023年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年5月2日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社アドウェイズ
 コード番号 2489 URL <https://www.adways.net/>
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 山田 翔
 問合せ先責任者 (役職名) 上席執行役員 管理担当 (氏名) 田中 庸一 TEL 03-5331-6308
 四半期報告書提出予定日 2023年5月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無:有
 四半期決算説明会開催の有無 :有 (機関投資家・証券アナリスト・報道機関・株主向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2023年12月期第1四半期の連結業績(2023年1月1日～2023年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年12月期第1四半期	3,455	△1.8	539	△17.6	575	△17.4	618	23.5
2022年12月期第1四半期	3,518	—	655	—	696	—	501	—

(注) 包括利益 2023年12月期第1四半期 417百万円(△31.4%) 2022年12月期第1四半期 609百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年12月期第1四半期	15.84	15.84
2022年12月期第1四半期	12.25	12.24

(注) 当社は、2021年12月期より決算期(事業年度の末日)を3月31日から12月31日に変更いたしました。これにより、経過期間となる2021年12月期は第1四半期連結累計対象期間を、2021年3月期まで決算期が3月31日であった当社及び連結子会社は2021年4月1日から2021年6月30日、2021年3月期まで決算期が12月31日であった連結子会社は2021年1月1日から2021年3月31日としております。2022年12月期第1四半期連結累計対象期間は2022年1月1日から2022年3月31日までであり、比較対象期間が異なることから2022年12月期第1四半期の対前期増減率の記載は省略しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年12月期第1四半期	24,971	14,950	58.3	385.57
2022年12月期	27,782	16,322	57.4	402.87

(参考) 自己資本 2023年12月期第1四半期 14,569百万円 2022年12月期 15,957百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年12月期	—	0.00	—	14.10	14.10
2023年12月期	—	—	—	—	—
2023年12月期(予想)	—	0.00	—	7.84	7.84

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無:無

2. 2023年12月期は、2023年12月期第1四半期末の発行済株式総数から自己株式を除いた37,786,920株から1株当たり配当金を算出してしております。

3. 2023年12月期の連結業績予想(2023年1月1日～2023年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,000	4.4	1,750	4.7	1,950	29.4	1,350	△46.8	34.57

(注)1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無:無

2. 第2四半期連結累計期間の業績予想につきましては、記載を省略しております。

3. 1株当たり当期純利益は、当第1四半期累計期間の期中平均株式数から自己株式を除いた発行済株式数である39,048,923株を通期平均株式数と仮定して算出しております。

4. 詳細は、添付資料「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動):有
新規 1社 (社名) 株式会社ADWAYS DEEE、 除外 1社

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用:無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 :無
- ② ①以外の会計方針の変更 :無
- ③ 会計上の見積りの変更 :有
- ④ 修正再表示 :無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

2023年12月期1Q	42,004,900株	2022年12月期	42,003,700株
2023年12月期1Q	4,217,980株	2022年12月期	2,394,980株
2023年12月期1Q	39,048,923株	2022年12月期1Q	40,901,887株

※四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、今後の様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法)

本資料の開示とあわせて、決算説明会資料を開示しております。

また、2023年5月2日(火)に機関投資家・証券アナリスト・報道機関・株主向けオンライン説明会(2023年12月期第1四半期決算及び中期経営計画)を開催する予定であります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計上の見積りの変更)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	9
3. その他	9
継続企業の前提に関する重要事象等	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2023年1月1日から2023年3月31日)の当社グループにおける連結業績は、以下のとおり、前年同期に対して売上高、営業利益、経常利益は減少、親会社株主に帰属する四半期純利益は増加となりました。

[連結業績]

(単位:千円、端数切捨て)

	前第1四半期 連結累計期間 (2022年12月期)	当第1四半期 連結累計期間 (2023年12月期)	増減額 (増減率)
売上高	3,518,431	3,455,436	△62,995 (△1.8%)
営業利益	655,690	539,989	△115,700 (△17.6%)
経常利益	696,163	575,223	△120,940 (△17.4%)
親会社株主に帰属する 四半期純利益	501,027	618,685	117,658 (23.5%)

アドプラットフォーム事業においては、金融関連企業の広告主(クライアント)及び、その他アプリのアフィリエイト広告の需要が増加した他、先進的な広告手法を用いた全自動マーケティングプラットフォーム「UNICORN」においてはゲームアプリを提供する広告主(クライアント)及びゲーム・マンガ以外の広告主(クライアント)からの広告需要が増加いたしました。国内のエージェンシー事業においては、博報堂DYメディアパートナーズとの資本業務提携による広告主(クライアント)及び、ゲーム・マンガ以外の広告主(クライアント)からの広告需要は増加したものの、ゲーム並びにマンガアプリを提供する広告主(クライアント)からの広告需要が減少いたしました。海外においては、中国政府によるゲーム業界への規制が緩和されたこと等により中国のゲームアプリを提供する広告主(クライアント)からの広告需要は回復したものの、為替の影響等により台湾における売上高は減少いたしました。これらの結果、売上高は、3,455,436千円(前年同期比1.8%減)となりました。

売上高は減少したものの、その他事業において、売上総利益率の高い事業が伸長したことにより、売上総利益は増加しましたが、人件費が増加したこと等により営業利益は減少し、539,989千円(前年同期比17.6%減)となりました。

経常利益は、営業利益が減少したことに加え、投資事業組合運用損を計上したこと等により575,223千円(前年同期比17.4%減)となりました。

税金等調整前四半期純利益は、経常利益が減少したものの、投資有価証券売却益を計上したこと等により895,020千円(前年同期比21.9%増)となりました。

上記の結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は、法人税等を計上したことにより618,685千円(前年同期比23.5%増)となりました。

[報告セグメント別業績]

(単位:千円、端数切捨て)

		前第1四半期 連結累計期間 (2022年12月期)	当第1四半期 連結累計期間 (2023年12月期)	増減額 (増減率)	
外部 売上高	①アドプラットフォーム事業	787,426	1,041,041	253,615 (32.2%)	
	②エージェンシー事業	国内	1,666,085	1,538,285	△127,799 (△7.7%)
		海外	571,922	462,478	△109,443 (△19.1%)
		合計	2,238,007	2,000,764	△237,242 (△10.6%)
	③その他	492,997	413,629	△79,367 (△16.1%)	
セグメント利益	①アドプラットフォーム事業	399,240	455,096	55,856 (14.0%)	
	②エージェンシー事業	742,895	495,866	△247,028 (△33.3%)	
	③その他	20,655	68,341	47,686 (230.9%)	

(注) 当社グループは、2023年1月4日付で当社のアドプラットフォーム事業に関する権利義務を新設分割により設立した株式会社ADWAYS DEEEに承継させたこと、並びに本件に付随して当社内の部門を再編したことに伴い、当第1四半期連結会計期間より、全社費用の各報告セグメントへの配分方法を変更しております。また、前第1四半期連結累計期間のセグメント利益については、変更後の配分方法による算定が困難であることから、変更前の配分方法によって算定しております。

①アドプラットフォーム事業

アドプラットフォーム事業は、スマートフォン向け広告サービス「AppDriver」及び「UNICORN」、モバイル向けアフィリエイト広告サービス「Smart-C」、PC向けアフィリエイト広告サービス「JANet」等、当社グループのアドプラットフォームを用いたインターネット広告の販売及び運用を行っております。

当第1四半期連結累計期間においては、金融関連企業の広告主(クライアント)からの広告需要が増加した他、アプリのアフィリエイト広告の需要が増加いたしました。

先進的な広告手法を用いた全自動マーケティングプラットフォーム「UNICORN」では、ゲームアプリを提供する広告主(クライアント)及び、ゲーム・マンガ以外の広告主(クライアント)からの広告需要が増加いたしました。これらの結果、アドプラットフォーム事業の売上高は1,041,041千円(前年同期比32.2%増)、セグメント利益は455,096千円(前年同期比14.0%増)となりました。

②エージェンシー事業

エージェンシー事業は、アプリ・ウェブの包括的マーケティング支援のため、アドプラットフォーム事業で提供している当社グループのアドプラットフォームを用いたインターネット広告に限らず、広告商品及び付随するサービスの代理販売を行っております。

当第1四半期連結累計期間の国内においては、博報堂DYメディアパートナーズとの資本業務提携による広告主(クライアント)及び、ゲーム・マンガ以外の広告主(クライアント)からの広告需要は増加したものの、ゲームアプリを提供する大型の広告主(クライアント)及びマンガアプリを提供する大型の広告主(クライアント)からの広告需要が減少いたしました。海外においては、中国政府によるゲーム業界への規制が緩和されたこと等により中国のゲームアプリを提供する広告主(クライアント)からの広告需要は回復したものの、為替の影響等により台湾における売上高が減少いたしました。これらの結果、エージェンシー事業の売上高は2,000,764千円(前年同期比10.6%減)、セグメント利益は495,866千円(前年同期比33.3%減)となりました。

③その他

その他は、土業向けのポータルサイトの運営や、インフルエンサーマーケティングの企画運営、サウナの運営事業等の新規事業等により構成されています。

当第1四半期連結累計期間は、土業向けポータルサイトの運営においては新規顧客を獲得したこと、インフルエンサーマーケティングの企画運営においてはVTuberイベントの企画運営及び開催に注力したこと、サウナ事業においては店舗数が増加したことにより売上高が増加いたしました。しかしながら、上記以外の事業の売上高が大幅に減少したため、その他事業の売上高は413,629千円(前年同期比16.1%減)となりました。

しかしながら、利益率の高い上記事業が伸長したことにより、セグメント利益は68,341千円(前年同期比230.9%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(単位:千円、端数切捨て)

	前連結会計年度 (2022年12月期)	当第1四半期 連結会計期間 (2023年12月期)	増減額 (増減率)
資 産 合 計	27,782,176	24,971,529	△2,810,646 (△10.1%)
負 債 合 計	11,459,944	10,021,315	△1,438,629 (△12.6%)
純 資 産 合 計	16,322,231	14,950,214	△1,372,017 (△8.4%)

[資産合計]

- ・流動資産は前連結会計年度末より2,573,385千円減少し20,319,572千円となりました。主な要因は、預け金が757,319千円増加したものの受取手形、売掛金及び契約資産が734,817千円、現金及び預金が2,589,562千円減少したことによるものであります。
- ・固定資産は前連結会計年度末より237,261千円減少し4,651,957千円となりました。主な要因は、投資その他の資産に含まれる投資有価証券が284,052千円減少したことによるものであります。

[負債合計]

- ・流動負債は前連結会計年度末より1,383,395千円減少し9,768,341千円となりました。主な要因は、その他に含まれる前受金が60,448千円増加したものの買掛金が196,005千円、未払法人税等が1,004,669千円、賞与引当金が6,650千円減少したことによるものであります。
- ・固定負債は前連結会計年度末より55,233千円減少し252,973千円となりました。主な要因は、その他に含まれる繰延税金負債が56,054千円減少したことによるものであります。

[純資産合計]

- ・前連結会計年度末より1,372,017千円減少し14,950,214千円となりました。主な要因は、自己株式の取得により、自己株式が1,243,859千円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループが主に手掛けているインターネット広告市場は、国内及び海外のスマートフォン関連ビジネスの市場拡大等を受け、更なる伸長を続けるものと思われれます。また、インターネット広告市場自体の成長、新しいテクノロジーを活用した広告配信及びクリエイティブの向上等の影響で、今後も市場拡大が期待されます。

当社グループは、国内及び海外のインターネット広告事業に経営資源を重点的に分配し、広告主(クライアント)数及び提携媒体(メディア)数の増加、大手メディアや独自のアドテクノロジーを持つ企業との戦略的な提携を行うことで、取引の拡大と売上の増加を図るとともに、他社との差別化を図ってまいります。

このような状況のもと、当第1四半期連結累計期間の当社グループにおきましては、主に先進的な広告手法を用いた全自動マーケティングプラットフォーム「UNICORN」を利用した広告配信及びゲーム・マンガ以外のアプリを展開する広告主(クライアント)からの需要等が拡大しております。

これらの状況を踏まえ、当社グループの主力事業であるインターネット広告事業の市場の変化を鑑み、2023年12月期(2023年1月1日～2023年12月31日)の売上高は、14,000百万円を見込んでおります。

営業利益は、売上高の増加により1,750百万円を見込んでおり、経常利益1,950百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は1,350百万円を見込んでおります。

なお、当社グループが事業展開を行うインターネット広告を取り巻く市場は、環境が著しく変化するため、個別の業績予想並びに第2四半期連結累計期間における連結業績予想の開示は省略しております。

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、今後の様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,864,371	10,274,809
預け金	5,376	762,696
受取手形、売掛金及び契約資産	9,202,433	8,467,616
棚卸資産	29,143	45,851
その他	880,923	858,654
貸倒引当金	△89,291	△90,054
流動資産合計	22,892,957	20,319,572
固定資産		
有形固定資産	618,498	612,835
無形固定資産		
のれん	51,951	49,037
その他	204,456	184,497
無形固定資産合計	256,407	233,535
投資その他の資産		
投資有価証券	3,341,732	3,057,679
その他	1,324,020	1,417,282
貸倒引当金	△651,440	△669,375
投資その他の資産合計	4,014,312	3,805,586
固定資産合計	4,889,218	4,651,957
資産合計	27,782,176	24,971,529
負債の部		
流動負債		
買掛金	7,870,072	7,674,067
未払法人税等	1,292,323	287,653
賞与引当金	6,650	—
その他	1,982,691	1,806,621
流動負債合計	11,151,737	9,768,341
固定負債		
退職給付に係る負債	13,377	14,698
その他	294,829	238,274
固定負債合計	308,207	252,973
負債合計	11,459,944	10,021,315
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,716,255	1,716,709
資本剰余金	6,947,045	6,947,499
利益剰余金	7,679,628	7,739,830
自己株式	△1,809,235	△3,053,095
株主資本合計	14,533,694	13,350,944
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	798,152	600,791
為替換算調整勘定	607,730	599,935
退職給付に係る調整累計額	17,502	17,951
その他の包括利益累計額合計	1,423,385	1,218,677
新株予約権	69,298	81,091
非支配株主持分	295,853	299,499
純資産合計	16,322,231	14,950,214
負債純資産合計	27,782,176	24,971,529

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年1月 1日 至 2022年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年1月 1日 至 2023年3月31日)
売上高	3,518,431	3,455,436
売上原価	713,582	556,768
売上総利益	2,804,848	2,898,667
販売費及び一般管理費	2,149,158	2,358,677
営業利益	655,690	539,989
営業外収益		
受取利息	417	2,529
持分法による投資利益	40,278	56,002
投資事業組合運用益	17,060	—
その他	6,285	8,804
営業外収益合計	64,041	67,337
営業外費用		
為替差損	20,353	2,885
投資事業組合運用損	—	26,986
その他	3,216	2,232
営業外費用合計	23,569	32,104
経常利益	696,163	575,223
特別利益		
固定資産売却益	—	11
投資有価証券売却益	71,159	323,655
特別利益合計	71,159	323,667
特別損失		
投資有価証券評価損	29,487	3,870
在外連結子会社リストラクチャリング費用	3,859	—
特別損失合計	33,347	3,870
税金等調整前四半期純利益	733,975	895,020
法人税、住民税及び事業税	176,211	244,980
法人税等調整額	40,055	31,791
法人税等合計	216,267	276,772
四半期純利益	517,708	618,248
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	16,681	△436
親会社株主に帰属する四半期純利益	501,027	618,685

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年1月 1日 至 2022年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年1月 1日 至 2023年3月31日)
四半期純利益	517,708	618,248
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△20,886	△196,649
為替換算調整勘定	96,587	28,249
退職給付に係る調整額	—	△152
持分法適用会社に対する持分相当額	15,776	△32,071
その他の包括利益合計	91,478	△200,625
四半期包括利益	609,187	417,623
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	584,594	413,976
非支配株主に係る四半期包括利益	24,592	3,646

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2023年2月16日開催の取締役会決議に基づき、自己株式1,823,000株の取得を行いました。この結果、当第1四半期連結累計期間において自己株式が1,243,859千円増加し、当第1四半期連結会計期間末において自己株式が3,053,095千円となっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

資産除去債務の見積りの変更

当第1四半期連結会計期間において、本社オフィスの不動産賃貸借契約に伴う原状回復義務として計上していた資産除去債務について、本社オフィス移転のための退去に伴う原状回復費用の新たな情報に基づき、見積りの変更を行いました。この見積りの変更による減少額35,373千円を変更前の資産除去債務残高から減額しております。

なお、当該見積りの変更により、当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ31,883千円増加しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2022年1月1日 至 2022年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損 益計算書計上 額(注)3
	アドプラットフォーム事業	エージェンシー事業	計				
売上高							
国内	787,426	1,666,085	2,453,511	492,997	2,946,509	—	2,946,509
海外	—	571,922	571,922	—	571,922	—	571,922
顧客との契約から生じる収益	787,426	2,238,007	3,025,433	492,997	3,518,431	—	3,518,431
外部顧客に対する売上高	787,426	2,238,007	3,025,433	492,997	3,518,431	—	3,518,431
セグメント間の内部売上高又は振替高	261,786	975	262,762	42,250	305,012	△305,012	—
計	1,049,213	2,238,982	3,288,195	535,248	3,823,443	△305,012	3,518,431
セグメント利益	399,240	742,895	1,142,135	20,655	1,162,790	△507,099	655,690

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、新規事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△507,099千円は、主に報告セグメントに配分していない一般管理費等の全社費用であり、主に役員及び間接部門に係る費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損 益計算書計上 額(注)3
	アドプラットフォーム事業	エージェンシー事業	計				
売上高							
国内	1,016,631	1,538,285	2,554,917	413,629	2,968,547	—	2,968,547
海外	24,409	462,478	486,888	—	486,888	—	486,888
顧客との契約から生じる収益	1,041,041	2,000,764	3,041,806	413,629	3,455,436	—	3,455,436
外部顧客に対する売上高	1,041,041	2,000,764	3,041,806	413,629	3,455,436	—	3,455,436
セグメント間の内部売上高又は振替高	178,306	79,200	257,506	42,004	299,511	△299,511	—
計	1,219,347	2,079,965	3,299,312	455,634	3,754,947	△299,511	3,455,436
セグメント利益	455,096	495,866	950,963	68,341	1,019,304	△479,314	539,989

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、新規事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△479,314千円は、主に各報告セグメントに配分していない一般管理費等の全社費用であり、主に役員及び間接部門に係る費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループは、2023年1月4日付で当社のアドプラットフォーム事業に関する権利義務を新設分割により設立した株式会社ADWAYS DEEEに承継させたこと、並びに本件に付随して当社内の部門を再編したことに伴い、当第1四半期連結会計期間より、全社費用の各報告セグメントへの配分方法を変更しております。また、前第1四半期連結累計期間のセグメント利益については、変更後の配分方法による算定が困難であることから、変更前の配分方法によって算定しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。